

平成 30 年 11 月 30 日

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学埋蔵文化財調査センター速報展示 2018
『発掘されたメインストリート』の開催について

熊本市内外に所在する熊本大学の各キャンパスは、縄文時代から近代までの遺跡の上に立地しています。1994年以降、校舎やインフラなどの整備・改修工事に先立ち発掘調査を実施しております。

昨年度は、熊本大学医学部附属病院で江時代戸から明治の道路に関する重要な発見がありました。このたび、これらの調査成果を学外の皆さまに公開する速報展示「発掘されたメインストリート」を下記のとおり開催いたします。熊本市内の歴史と埋蔵文化財に、関心とご理解を頂ければ幸いと存じます。つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材をよろしく願いいたします。

記

*開催期間：平成30年12月3日（月）～平成31年4月30日（火）

開館時間 9：00～17：00

※土日・祝日、年末年始（12月28日～1月3日）を除く

*会場：熊本大学埋蔵文化財調査センター 1階 展示室 ※入場無料
（熊本大学黒髪南地区）

・ご来場の際は公共交通機関をご利用のうえお越してください。

*期間中の12月7日（金）AM10:00～11:00に、調査員による説明会を行います。併せて周知をよろしく願いいたします。

<お問合せ先>

熊本大学埋蔵文化財調査センター

担当：吉留広・山野ケン陽次郎

T E L : 096-342-3832

E-mail : maibun@jimui.kumamoto-u.ac.jp

(展示概要)

平成29年度、熊本大学医学部附属病院の敷地内において、旧管理棟・旧外来臨床研究棟の取り壊しに伴う発掘調査が熊本大学埋蔵文化財調査センターにより実施されました。最も大きな調査成果は、調査区を東西に横断する幅12m以上の切通しきりとおの道路遺構の発見です。道路遺構内の出土遺物により、江戸時代から明治にかけて使用された道路であることが分かりました。この道路は江戸時代～明治の絵図けいちょうくにえず（『慶長国絵図』、『正保国絵図』等）にも記載されおり、熊本城ひゅうがから日向ひゅうがおうかんに至る「日向往還」の旧ルートと想定されます。熊本市内で考古学的にその存在が明らかとなったのは初めてのことです。

速報展示では、道路遺構内から見つかった当時の陶磁器とうじきや火打石ひうちいし、古銭こせんなど様々な道具類を展示します。また、詳細な調査により明らかとなった道路遺構の構造をジオラマで復元することで分かりやすく解説しています。その他、奈良・平安時代の「杵本寺」へらがと窺うかが描がきされた土師器はじきや、県立熊本病院時代に廃棄土坑はいきどこうに捨てられた医療関係の道具など、発掘調査で見つかった特徴的な遺物を展示いたします。

本展示をご覧頂くことで熊本大学医学部附属病院が現在の姿になるまでの移り変わりと、当時の人々の往来を感じて頂ければと思います。



江戸時代の道路（西より）



慶長国絵図の日向往還ルート
(地図は熊本大学永青文庫研究センター寄託)



現代の地図に明治の道を重ねたもの
(調査区 □ 井手 □ 道路 □)



道路内から出土した様々な遺物
(本荘北地区 1708調査地点)



廃棄土坑から出土した遺物
(本荘北地区 1708調査地点)